

## 《総会次第》

開会の挨拶

議長選出

会長挨拶

議題 1 平成24年度事業報告について

議題 2 平成24年度決算報告について

議題 3 会計監査報告

議題 4 平成25年度事業計画（案）について

議題 5 平成25年度予算（案）について

議題 6 役員改選について

議題 7 その他

議長退任

閉会の挨拶

はじめに、

今年6月9日、爽快な初夏の日差しの下で新屋鹿嶋祭が行われ、栗田養護学校と20町内会の鹿嶋船が新屋の町にくりだしました。

古くから近郷近隣の大きな祭りとして知られてきた鹿嶋祭は、「鹿嶋流し」「鹿嶋送り」とも言われ、子供達の健やかな成長と息災安全を祈り、鹿嶋人形を川に流し送り出すことで子供らの「厄を流す(祓う)」という鹿嶋祭の真髓がそこにありました。今日、河川環境保護の立場から「鹿嶋流し」の光景はめっきり少なくなりましたが、それでも、罪障を背負った鹿嶋人形の神社参拝を通して罪や穢れは雲散霧消していったことでしょう。

昨年第2回定期総会以降、「講演会」の開催、ウェスター祭りでの写真資料展示会、秋田銀行新屋支店内フロア写真展示を取り組んできました。今年の鹿嶋祭にあたり鹿嶋祭保存会では、鹿嶋祭ポスターの製作発行、鹿嶋太鼓の合同練習開催、太鼓、唄のCD製作と全町配布を行いました。また、当番町・北新町との連絡調整会議、全町打合せ会議へ出席の機会を得て、「調査アンケート」と鹿嶋船の製作過程、鹿嶋船全姿写真、集合写真の提供など要請しました。

鹿嶋祭保存会は、5つの部会である事業部、製作部、調査研究部、実技部、広報部を中心に取り組まれています。各部の課題、テーマに沿って専門的な調査、研究、討議が行われてきています。特に鹿嶋祭に関する文献、資料は意外にも多くはありません。鹿嶋祭の発祥とルーツ、秋田に伝わる鹿嶋祭の歴史的背景や精神など興味深いものがあります。特に鹿嶋船、鹿嶋人形、武者人形(見返り人形)などの搭載物に関するもの、鹿嶋祭の唄や太鼓に関する歴史と変遷に至っては、鹿嶋祭保存会内においても受け継がれてきた年代や町内会によって事象の変化があり、今日、「継承」「伝承」のあり方や理論的整理も課題になっています。

今年度保存会の事業としてウェスター祭り、座談会の開催、さらには模範的鹿嶋船の製作と展示など計画されています。これらの事業達成にむけて三役・事務局及び理事会の定例開催、事務局と部会及び部会間の横断的な連携と共同討議・協同作業など課題・テーマ別に取り組んでいく機会が増えてくるものと予想されます。

鹿嶋祭保存会も発足してから3年目を迎えますが、発足の目的である、「文化財愛護精神に基づき、新屋の伝統行事である新屋鹿嶋祭の調査研究、保存顕彰並びに継承者の育成を目的とし、永く正しくこれを後世に伝承することを目的とする」に基づき活動を展開してきています。そのためにも会員全体が相互の親睦を深めながら、保存会の存在意義を再認識し、新屋地域の歴史と文化を支え担う保存会の運営、活動を充実させて行くことを期待します。

## 議題 1 平成24年度事業報告について

### (1) 活動の足跡

#### 平成24年

- 7月29日 新屋鹿嶋祭保存会第2回定期総会
- 8月28日 第3回事業部会
- 9月 3日 三役・各部部長副部長合同会議
- 9月24日 三役・各部会員合同会議
- 10月 1日 鹿嶋祭保存会「講演会」(秋田県歴史郷土家 大島正美氏)
- 10月9日～11日 鹿嶋祭写真展準備作業
- 10月12～14日 鹿嶋祭写真展(ウェスター祭り内展示場)
- 10月15日 鹿嶋祭写真展撤去後片付け作業
- 10月29日 第4回事業部会
- 11月11日 鹿嶋祭保存会写真展示会(秋田銀行新屋支店内)準備作業
- 11月16日～12月14日
- 11月30日 第2回広報部会

#### 平成25年

- 1月 1日 新屋振興会「新屋來報」保存会活動紹介文掲載
- 1月 5日 新屋振興会平成25年新年会(伊藤富美雄会長、藤枝隆博総務)
- 1月24日 第3回製作部会(部会新年会)
- 1月30日 第5回事業部会(部会新年会)
- 2月 9日 第2回会員全体会議及び新年会
- 3月25日 第6回事業部会
- 3月31日 鹿嶋祭太鼓講習会  
三役部会代表者合同会議
- 4月 6日 第3回広報部会
- 4月20日 平成25年度鹿嶋祭当番町北新町との連絡調整会議
- 5月 9日 第4回製作部会
- 5月13日 第7回事業部会
- 5月15日 平成25年度鹿嶋祭全町打合せ会議(当番町 北新町町内会)
- 6月 4日 三役各部会合同会議
- 7月16日 第8回事業部会
- 7月19日 第1回理事会
- 7月21日 あきた歴史発見会～せせらぎ地域発表会～

## (2) 主な行事・会議の取り組み

### 1、鹿嶋祭保存会「講演会」

日時 平成24年10月 1日(月)午後6時30分

場所 ウェスター3階 6・7号室

参加人員 会員25名 一般 4名

講師 大島 正美 氏(郷土歴史研究家)

題目 「新屋の歴史と鹿嶋祭り」

秋田・新屋の「原始」「古代」「近世」の郷土の政治、行政、産業、農業、文化の歴史を振り返りながら、関東、東北地方への鹿嶋信仰の普及とともに鹿嶋祭が伝わってきた時代背景について講義。昭和59年には新屋鹿嶋祭が国立歴史博物館(千葉県佐倉市)に認められ、民族部門の展示物として永く保存される栄誉を得て、当時の新屋の世話人らが貢献された。

講演後、会員・出席者からの質問・意見交換を約30分程度。

### 2、 ウェスター祭り「鹿嶋祭写真展」の開催

日時 平成24年10月12・13・14日(金・土・日)

場所 ウェスター2階

展示物

- ① 平成24年鹿嶋祭各町内会提供写真とDVD放映
- ② 平成24年鹿嶋祭保存会撮影写真の展示
- ③ 会員撮影の展示
- ④ 鹿嶋祭に関する歴史的な写真及び記事、資料、新聞、文献など資料
- ⑤ 「写真展」3日間の当番

12日 10時～13時(国安 明、狩野紀男)

13時～17時(斎藤政雄、猿田英一)

13日 10時～13時(藤枝隆博、海風敏夫)

13時～17時(藤枝隆博、大塚誠智)

14日 10時～13時(小野 均、金澤國太郎)

13時～17時(高橋 伸、小玉隆太郎)

直会 17時30分～19:30

※10月9日～11日駅前町内会会館で会員有志約20名が準備作業、展示物の運搬などを行った。

### 3、「写真資料展示会」の取り組み

日時 平成24年 11月16日～12月14日

会場 秋田銀行新屋支店内

写真・資料の展開

- ・ウェスター祭りの一部写真・資料などを銀行内展示場に掲出し、鹿嶋祭の写真や保存会の活動などを紹介しながら来店したお客様に楽しんで頂いた。

### 4、第2回会員全体会議及び新年会

日時 平成25年 2月 9日 16時～

会場 ウェスター3階 洋5.6号室

《平成24年度鹿嶋祭秋田市視察報告書》

赤坂光一理事から秋田市教育委員会文化振興加（安田室長補佐、進藤主査、井川主事）作成の「新屋の鹿嶋祭調査報告書」に基づく解説を受けた。

《平成24年度上期部会活動報告と今後の目標について》

【事業部会 小島初男部長】

「地域づくり交付金」の25年度申請準備、鹿嶋船ミニチュア製作、鹿嶋船各町内コンクール開催、25年度写真展の開催、鹿嶋祭座談会の開催、「鹿嶋祭の歌」「鹿嶋人形の顔の統一」など報告。

【製作部会 國安明部長】

これまで①鹿嶋人形、鹿嶋船、その他祭りに関する製作物の調査・研究を行う。②各町内の鹿嶋人形、鹿嶋船など製作物に関する調査・研究・交流・指導を行う。③鹿嶋船、鹿嶋人形の歴史的意義、時代の変化など調査・研究・発表などを部会で討議してきた。

今後の目標は、①写真コンクール等のイベントを期待する。②各町内の鹿嶋船の全てを関係者に広く見てもらう機会の企画。③秋田市無形民俗文化財に指定を受けていない要因、原因を調査。④各町内に撮影依頼、最も一般的、標準的な「鹿嶋船」の形を研究していく。

【調査研究部会 金澤國太郎部長】

鹿嶋祭のルーツの探求を基本に、鹿島神宮、鹿島大明神、鹿島と佐竹氏との関係、秋田藩と鹿嶋祭の歴史的考察などプロジェクターを使用して報告。鹿嶋祭伝承の考察、今後の研究テーマなど報告された。鹿嶋祭と縁がある秋田の神社が写真と共に紹介され、興味深い発表となった。

【実技部会 鈴木恭治部長】

鹿嶋祭太鼓の演奏講習会の開催を計画したい。鹿嶋の唄と太鼓を収録したCDを作成し配布したい。かつて中野源一氏が鹿嶋祭に指導的立場で参与しており、太鼓打ちの「正調」を指導した。

【広報部会 藤枝隆博副部長】

遊山、露踏み、鹿嶋祭、七夕祭り、よちゃこの灯籠、やぐらこなど新屋の祭りについて経験者

(年配者) から語っていただく座談会の開催を。鹿嶋祭の歴史も一人で語るとすれば大変だが、複数の方たちから座談会形式でしゃべってもらうことで当時は振り返っていただき、新しい発見があるのではないかと。広報部の活動予定として、①鹿嶋祭保存会のホームページの立上げ。②「鹿嶋さんニュース」、③鹿嶋祭ポスター作成、④「地域づくり交付金」に向けた取り組み(展示用鹿嶋船、旗、腕章、半被、ジャンパー、褌など保存会グッズ)。

#### 《事務局から問題提起》

- ① 「地域づくり交付金」の申請については、事業部会を中心に4月頃を目処に申請準備していく。
- ② 「平成24年度鹿嶋祭調査アンケート集約表」を参照に、25年度鹿嶋祭に対応したい。
- ③ 平成25年度鹿嶋祭当番町北新町との連絡調整会議を4月頃に開催し、保存会と当番町との連絡調整の場を設けて、保存会の祭りへの関わり方を検討したい。
- ④ 会員は部会所属を基本として、未所属会員の解消を図り、部会に積極的にかかわり活動を担っていただきたい。また、部会変更を望む会員は希望を申し出てほしい。
- ⑤ 会費納入状況は良好である。
- ⑥ 文書発送の協力と集約について、郵送代を節約する意味で会長、部会を経由して手配りに協力していただきたい。また、メール配信は助かるので教えていただきたい。

(まとめ) 本日の各部会報告は、時間的制約があり、講演会、座談会、部会発表会などを開催して、改めて勉強を深める場を設けたい。製作部の鹿嶋船の製作、鹿嶋祭の唄のCDなど製作し、毎年の鹿嶋祭への支援、連携を持った取り組みを強化したい。

事務局及び三役部長会議で本日の会議の内容を整理しながら、部会間の横断的な討議を深めていきたい。今年の鹿嶋祭で取り組むもの、中・長期的に取り組むものを整理しながら、鹿嶋祭保存会の存在意義、目的を明確にして、新屋の皆さんに楽しんでいただける活動を展開したい。

#### 【特別講演】

世界物語遺産 「海から上がったおむすび地藏さん」著者(共同編集 秋田市勝平小学校図書委員会、一般財団法人 カミーノあきた)代表 さいとうみつこさんから童話の語りべ講演を行った。斉藤さんからは財団法人の活動紹介や新屋、西部地区の鹿嶋祭の交流を行っていくこととした。

閉会の挨拶後に、全員で「新年会」を行った。

## 5、鹿嶋祭太鼓合同講習会の開催

日時 平成25年 3月31日 16時～

会場 日新小学校体育館

担当 実技部、総務（7名）

参加町内会 9町内会、子供 27名、大人 15名

実技部部会の中で、「他町内会の鹿嶋船、太鼓、唄を聞く機会がない」「太鼓、唄が町内会によって相違しており、新屋鹿嶋祭として統一した指導ができないか」という意見が出されていた。その改善策の一つが今回の合同講習会でした。体育館ステージに太鼓群を2グループ設置して、子供と大人の皆さんに実技部から太鼓演奏して講習を行った。

太鼓演奏を録音し、後にCDに収録し参加町内会に配布した。尚、鹿嶋祭の歌についてもCD版を制作し配布した。

## 6、会議名称 新屋鹿嶋祭保存会三役及び部会代表者合同会議

日時 3月31日（日）午後5時～6時

場所 ウェスター会議室

出席者 保存会三役及び各部会長・副会長（15名）

会議には太鼓合同練習に参加された実技部員4名も出席された。

### 議題1 地域づくり交付金の申請について（事業部関係）

3月25日事業部会の報告があり、各部から交付金予算化を検討されたい。4月10日秋田市説明会があるが、上限は50万円。申請、ヘアリング、結果、調整と手続きがされる。

### 議題2 鹿嶋太鼓練習とCD交付について

実技部より、本日、日新小学校において9町内を集めて鹿嶋太鼓合同練習を開催した。鹿嶋の唄、太鼓のCDを製作して全町に交付したい。参加町内の練習と正しい演奏、歌で祭りを盛り上げてほしい。また、太鼓のコンクールなど行なえるよう希望を持っている。

### 議題3 新屋鹿嶋祭保存会ホームページの立上げについて

広報部高橋伸部長よりプロジェクターによりホームページの編集内容について説明がされプロバイダー契約、年間予算など経済的な会社を選定していく。また、交付金の予算化にも組み入れていく。ホームページの充実、豊富化にむけて各コーナーへの寄稿、写真、部会紹介など掲載していく。

### 議題4 平成25年度鹿嶋祭に向けた取り組み

「鹿嶋船コンクールの開催」にむけて、「新政」酒造の跡地利用を利用してコンクール、展示会などやればいいが、全町の船が集うことが時間的、物理的に可能か、当番町、参加町内から合意形成が得られることが出来るのか。事業部が中心となり実務的な検討を加えていく。

（総務まとめ）

1. 北新町・当番町との打合せ会議を4月20日に開始する。

2. 25年度各町内鹿嶋祭(船、人形の写真)の提供にむけて、協力要請文書を発送する。(全町打合せ会議にて配布する)
3. 鹿嶋祭ポスター、チラシ作成については、入札方法として見積もりしていく。150枚のポスター(新屋内外)とチラシを作成していく。
4. 境内への鹿嶋祭の写真、資料などの展示コーナー設置について討議したが、前年に緑町(当番町)が写真展示したがほとんど見る機会もなく終えた。効果的な場所の設定とは言えないので効果的な場所、方法について検討していくが、準備するだけの要員が確保できるのか?
5. 実技部の演奏披露だが場所、時間、演舞者の確保が難しい。
6. 秋田市教育委員会の「後援」については、文書で要請していく。

#### 議題5 「鹿嶋祭を語る会」【仮題】(講演、発表、座談会など)の開催

1. 開催時期をウェスター祭りが終わってからの開催に向けて準備する。年齢、男女5～6名程度を人選していく。(事業部)
2. 調査研究部より研究発表「鹿嶋祭の歴史と今日の祭り」(仮題)の準備を金澤調査研究副部長にお願いし、座談会、ウェスター祭りなどで報告する。

#### 議題6 鹿嶋船の製作に向けた取り組み

1. 製作部が中心となり、鹿嶋船の模範的な船の製作に取り組む。その際、伝統的な鹿嶋船のモデルの選定、設計図はイラストにより検討を加えていくが、時代をさかのぼり鹿嶋船の写真収集が必要である。財政的にも地域づくり交付金の活用、地域、会社などに援助を仰ぎ、完成にこぎつけたい。(平成26年度の具体化に向けて)

#### 議題7 その他

1. ウェスター祭りでの鹿嶋祭保存会の展示場所は2階廊下フロアとなる予定。9月頃に実行委員会(合同部会)を作り準備していく。

### 7、当番町北新町との連絡調整会議

日時 4月20日(日)午後5時～6時

場所 ウェスター会議室

出席者 北新町 川田直政会長ほか4名

保存会三役及び各部会長・副部会長(16名)

鹿嶋祭保存会伊藤富美雄会長挨拶

北新町川田直政町内会長挨拶

出席者自己紹介

#### 議題 1 平成25年度鹿嶋祭保存会の取り組みの報告

藤枝隆博総務から、①鹿嶋祭保存会ポスターの製作と掲出、②昨年に引き続き「調査アンケート」を参加町内会、養護学校へ要請する機会として、全町打合せ会議への出席を要請したい、③



鹿嶋船の写真の提供（正面、側面、後方面、製作過程）、④鹿嶋祭の「太鼓」「鹿嶋祭の唄」の収録 CD の全町、養護学校への配布、⑤鹿嶋祭保存会ホームページで北新町当番町の紹介として、「川田会長挨拶文書」「参加町内会、栗田養護学校の紹介、入船順序、時間の紹介」など準備する。⑥鹿嶋船審査コンクール（例：来賓の方々から船、搭載物、鹿嶋人形、太鼓、唄等を審査していただき投票していただく方法）を今後、検討していきたい。⑦鹿嶋船の一齐展示について検討しているが、日吉神社参拝後に会場（旧新政酒造工場跡地利用）に終結し、解散するまでの時間的、物理的な制約から難題と参加町内との合意形成から困難。⑧「地域づくり交付金」の活用を図り保存会活動を活発なものにしていきたい。

議題 2 当番町・北新町町内会の取り組み状況と鹿嶋祭保存会への要望、意見交換

事務局提起を受けて北新町から考えが示され、①当番町として保存会から協力、支援をお願いしますので全町代表者会議に出席されたい、②全町代表者会議の日程は5月中旬とする。③鹿嶋祭保存会の取り組みに当番町としても協力したい。（会議終了後、懇親会開催した。）

※5月15日開催の「平成25年度鹿嶋祭全町打合せ会議」（当番町 北新町町内会主催）に藤枝隆博総務が出席し、①鹿嶋祭調査アンケート、写真提供の要請、②鹿嶋太鼓、唄のCDを各町内、擁護学校に配布し協力をお願いした。

## 8、鹿嶋祭保存会三役各部会合同会議

日時 6月4日（火）午後6時～9時

会場 ウェスター洋室第4会議室

出席者 ①鹿嶋祭保存会三役・各部代表者

②鹿嶋祭展示活動に協力出来る会員（各部会から呼びかけ）

議題 1、平成25年度鹿嶋祭に伴う資料展示会の準備について

鹿嶋祭に合わせて日吉神社の境内での写真展示の取り組みについて討議したが、①掲出に必要な鹿嶋祭の写真、珍しい写真、資料など少ない、②神社境内に掲出しても参加者や一般観光客の目に止まる場所ではない、③会員が町内の鹿嶋船の製作に追われており、掲示板取り付けなどに要員が確保出来ないなどの状況から今年の展示は見送ることにした。

議題 2、「地域づくり交付金」の進捗状況

事業部、広報部が中心となり地域づくり交付金の申請手続きをしていくが、各部の活動の予定など予算化していく。

議題 3、その他の取り組み

- ① アンケート調査の集約（5月下旬まで総務まで届け出）
- ② 鹿嶋船の写真の提供（正面、側面、後方面、製作過程など総会まで提出）
- ③ 「鹿嶋さん」ニュースの発行
- ④ 鹿嶋祭保存会 HP の紹介
- ⑤ その他

## 9、第1回理事会の開催

日 時 平成25年7月19日(金)午後6時30分

場 所 ウェスター3階:会議室

出席要請 会長三役及び理事、17名が出席

### 議題 1 第3回通常総会の開催について

第3回定期総会を平成25年8月4日(日)午後4時、ウェスターにおいて開始することを承認頂いた。(既に会員には総会案内は文書発送済み)

議題 1 平成24年度事業報告(責任作成:藤枝隆博)

議題 2 平成24年度収支決算報告(責任作成:大塚正一)

議題 3 監査報告(責任作成:小野良治、渡辺憲一)

議題 4 平成25年度事業計画(案)(責任作成:藤枝隆博)

議題 5 平成25年度予算(案)(責任作成:大塚正一)

議題 6 役員改選について

会長、副会長、総務事務局、総務会計、理事(町内会長、栗田義護学校)

議題 7 その他

※ 総会終了後、生ビール納涼祭を開催する。

年会費及び納涼祭の会費持参。

### 議題 2 地域づくり交付金の決定について

交付申請額「152,000円」の全額交付金が決定した。25年度予算とは切り離して予算執行する。(実績は秋田市に報告必要)特別予算案として別に総会に提案する。

### 議題 3 第5回事業部会の報告

### 議題 4 「鹿嶋祭座談会」の取り組み

平成25年11月開催に努力する。

それまで、「語り」の出演者を選抜、依頼する。(事業部会人選参考)

### 議題 5 鹿嶋船製作と展示場所の確保

○ 製作部、柴田茂男副部長の製作及び展示場所(ウェスター2階フロア)の確保を平成26年目途に作業を開始する。

○ ウェスターへの要請行動。

### 議題 6 その他

## 議題 2 平成24年度決算報告について

平成24年7月1日～平成25年6月30日

収入総額 406,940円  
 支出総額 339,182円  
 差引総額 67,758円

### 収入

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	54,926	54,926	0	
負担金	66,000	66,000	0	3000円×22
会費	50,000	59,000	9,000	2,000×1、1,000×57
寄付金	0	14,000	14,000	横山10,000・郷土会4,000
雑収入	5	213,014	213,009	懇親会会費、利子
合計	170,931	406,940	236,009	

### 支出

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会議費	40,000	218,979	178,979	総会費、理事会等
事務費	40,000	35,624	△4,376	印刷、通信等
部会活動費	80,000	77,019	△2,981	講演会、ウェスター祭、会報等
予備費	10,931	7,560	△3,371	鹿嶋祭当番町へのお祝酒等
合計	170,931	339,182	168,251	



総収入:406,940円－総支出:339,182円＝残金67,758円(次年度への繰越金)  
 残金内訳:預金55,920円、現金11,838円

## 議題 3 会計監査報告

### 平成24年度 会計監査報告書

平成25年7月18日、鹿嶋保存会の関係諸帳簿及び貯金通帳等証拠書類について監査の結果いづれも適正に処理されていることを認めます。

新屋鹿嶋保存会会計監事

小野良治  (印)  
 渡邊寛一  (印)

平成25年7月18日、  
 鹿嶋保存会  
 会長 伊藤 富美雄 殿

## 議題 4 平成 25 年度事業計画（案）について

### 1、保存会の会員拡大と健全な財政の確立に向けて

平成 25 年 8 月現在の会員は別紙「新屋鹿嶋祭保存会会員名簿」のとおり 74 名です。栗田養護学校及び鹿嶋祭参加 20 町内会、及び新屋郷土会から 2 名が参加しています。

私たち鹿嶋祭保存会で掲げる目標達成と課題に向けてと調査・研究・討議を怠ることなく推し進め、保存会の活発な活動を継続して行くためにも鹿嶋祭を愛する人材の発掘と拡大を図りながら健全な財政基盤の確立に努力していきます。

具体的には、

- (1) 鹿嶋祭参加町内会から選出されている理事（町内会長または代表者）の個人会員化。
- (2) 各町内は 2 人以上の会員拡大を目標にする。
- (3) 平成 25 年度会員 100 人達成に向けて取り組む。

### 2、三役、部会議（部活動）、理事会の開催について

発足から 3 年目の保存会活動の事業運営と活性化を目指して取り組んでいきます。そのためのも、三役・事務局・理事会が一体となって意思統一を図る討論を積み重ねていきます。

そのためにも次の取り組みを行います。

- (1) 保存会の事業運営においては三役（会長・副会長・総務・会計）会議を開催し、組織の健全・適切な組織運営と活動を遂行します。
- (2) 必要な都度、理事会を開催します。
- (3) 保存会の柱である 5 つの専門部会（事業部、広報部、調査研究部、製作部、実技部）を重点的に活性化しながら、課題別テーマにむけて活動を展開します。また、必要な場合は共同作業で事業を活発に行っていきます。

### 3、「調査アンケート」集約と提供写真の活用について

平成 25 年度に取り組んだ「調査アンケート」の集約に努め、参加町内会の意見、要望などを把握しながら今後の鹿嶋祭保存会の活動の糧とします。また、要望事項については保存会または当番町との連携を強めて、より良い鹿嶋祭の運営に努めていきます。

また、低居された写真データ、貴重な資料等については今後の展示会、座談会、調査研究、広報活動に役立てていきます。

具体的には、「(1) 平成 25 年度事業計画（案）について」、「(2) 各部の主な活動内容と計画案について」で提案します。

## 討議資料

○各部会の経過と活動方針案を参照して下さい。

## (1)年間月別事業スケジュールについて

年	月	日	曜日	事業内容
平成25年	8月～	4日	日	第3回定期総会 ウエスター祭り実行委員会(合同部会) ホームページの更新、充実、「鹿嶋さん」ニュースの定期発行
	8月		日	○三役・部長・副部長合同会議 ○地域活性化づくり交付金の具体化(ポスター、スタッフジャンパー、幟旗など)
			日	○各部会議 ・部長・副部長などの改選、選出 ・会員の部会所属の把握 ・各部年間計画と活動の具体化
	9月			○ウエスター祭り実行委員会(合同部会) ・写真、資料、文献など収集作業 ・展示物の方法、準備作業
	10月	11～13日		○ウエスター祭り ・展示準備、当番決定
中旬			○「鹿嶋祭座談会」の企画・準備(会場、案内チラシ、人選、プログラム、他)	
11月		日	○「鹿嶋祭座談会」	
平成26年	1月～2月		日	○新屋郷土会新年会(東京)
			日	○第3回会員全体会議(新年会)
	3～4月		日	○鹿嶋祭に向けての取り組み
			日	○鹿嶋祭ポスター製作、張り出し
		日	○当番町との懇親会	
5月～6月	6月8日		○第3回三役会議(部会合同会議) ○鹿嶋祭に向けての具体的な準備(鹿嶋祭での取り組み) ○新屋鹿嶋祭 ○川尻地区、その他鹿嶋祭視察	
7月～			○第2回理事会 ・総会にむけた準備、議案作成討議 ・新屋鹿嶋祭保存会第4回定期総会	

## (2) 各部の主な活動内容と計画案について

事業部	<p>総会で決定した事業方針に基づき、研究発表会、実技発表会、講演会など企画担当する。鹿嶋祭保存会の企画、立案など中心的な役割を果たすと同時に、各部会間の横断的な討議を推進する。</p>
広報部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存会活動を会員及び新屋地域などに広報宣伝活動に関する事項</li> <li>・「鹿嶋さん」発行、その他宣伝媒体方法</li> <li>・新屋振興会、新屋地域の各団体への広報活動</li> <li>・ホームページ更新による宣伝活動と広報活動など</li> <li>・スタッフジャンパー、幟旗の購入</li> </ul>
調査研究部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿嶋祭に関する歴史、祭事、慣習などに関する事項について調査、研究、発表。</li> <li>・調査、研究した内容について会員、各町内会、住民に対して公表、発表する活動。</li> <li>・「鹿嶋祭写真展」「鹿嶋祭座談会」などの資料提供。</li> <li>・研究成果の発表、展示活動</li> </ul>
実技部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員及び参加町内会に対する「歌」「太鼓」などの歌唱及び演奏指導を行う。</li> <li>・「歌」「太鼓」の歌唱、演奏など日時、場所を指定して教育、指導する。または町内会に出向いて指導する。</li> <li>・鹿嶋の唄、太鼓の「デモテープ」「CD版」の製作、普及。</li> <li>・「演奏会」「発表会」など企画運営。</li> </ul>
製作部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿嶋人形、鹿嶋船、その他祭りに関する製作物の調査・研究を行う。</li> <li>・模範的な鹿嶋船のモデルの製作と展示</li> <li>・鹿嶋船、鹿嶋人形の歴史的意義、時代の変化など調査・研究、発表。(調査研究部の調査内容と関連性)</li> </ul>

# 議題 5 平成25年度予算(案)について

平成25年7月1日～平成26年6月30日

## 収入

項目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	67,758	54,926	△12,832	
負担金	66,000	66,000	0	3000円×22
会費	65,000	50,000	△15,000	1000円×65名
寄付金	0	14,000	14,000	
雑収入	200,010	5	△200,005	利子、懇親会会費等
合計	398,768	184,931	△213,837	

## 支出

項目	予算額	前年度決算額	比較増減	備考
会議費	220,000	218,979	△1,021	総会費、理事会等
事務費	50,000	35,624	△14,375	印刷、通信等
部会活動費	110,000	77,019	△32,981	
予備費	18,768	7,560	△11,208	
合計	398,768	339,182	△59,585	

項目	予算額	前年度決算額	比較増減	備考
会議費	220,000	218,979	△1,021	総会費、理事会等
事務費	50,000	35,624	△14,375	印刷、通信等
部会活動費	110,000	77,019	△32,981	
予備費	18,768	7,560	△11,208	
合計	398,768	339,182	△59,585	

## (2) 地域づくり交付金・特別会計 予算(案)

平成25年7月1日～平成26年6月30日

### 《収入》

項目	予算額		備考
秋田市補助金	¥152,000		地域づくり交付金=8月中に納金予定
繰入金	¥418		会から繰り入れ
合計	¥152,418		

### 《支出》

項目	予算額		備考
①ホームページ作成	¥20,000		
②印刷費	¥29,138		ポスター印刷(150枚)=会から支出済
③備品	¥8,500		幟旗(4本)
④備品	¥93,500		スタッフベスト(50着)
⑤記録保存経費	¥1,280		唄と太鼓のCD作成=会から支出済
合計	¥152,418		

\* ①は、作成者に支払う。

\* ②と⑤は、一般会計の雑収入に繰り入れる。

\* ③と④は、10月に行われる写真展に合わせて購入する。



# 秋田市地域づくり交付金事業 交付金決定通知書

秋田市指令第 3427 号

団体名 新屋鹿嶋祭保存会  
所在地 秋田市新屋日吉町10-67  
代表者 会長 伊藤 富美雄

平成25年5月30日付けで申請のあった秋田市地域づくり交付金事業「新屋地区の伝統行事を保存・伝承活動」について、金152,000円の交付を決定したので通知します。

事業の実施にあたっては、交付条件、秋田市財務規則および秋田市地域づくり交付金交付要綱を遵守してください。

平成25年7月12日

秋田市長 穂積



記

## 1 交付条件

- (1) 交付金、交付金額の算定根拠【別紙参照】に該当した、ホームページ作成費、印刷費、備品購入費、記録保存経費にかかる経費に充てること。
  - (2) 交付金は、事業目的以外に使用しないこと。
- 2 交付対象事業が完了したときは、完了後30日を経過した日又は平成26年3月31日のいずれか早い日までに、事業実績報告書（様式第4号）に、事業収支決算書（様式第2号）、事業実績写真および決算内容と照合できる領収書等の写しを添付し提出してください。上記の交付決定金額を上限として、事業実績に応じて交付金を精算いたします。
- 3 本事業に要した収支の関係書類は、5年間保管してください。
- 4 交付金の前金払いを受けようとするときは、交付金前金払申請書および交付金請求書を提出してください。

「地域づくり交付金」  
交付金額の算定根拠

個表 No.

5

1. 申請事業

事業の名称	新屋地区の伝統行事を保存・伝承活動	新規
申請団体	新屋鹿嶋祭保存会	
代表者名	会長 伊藤 富美雄	

2. 申請額の査定について

- (1) 個別経費ごとに、単価及び数量等を審査・査定。  
(2) 区分欄の※については、対象外経費とした。

3. 審査・査定結果について

(単位：円)

区 分	予算額	内 訳	審査・査定後の金額
ホームページ作成費	20,000		20,000
印刷費	29,138	ポスター印刷(150枚)	29,138
備品購入費	8,500	織旗φ2,125×4本	8,500
	93,500	スタッフ用	93,500
記録保存経費	1,280	唄と太鼓のCD作成	1,280
合 計	152,418		
① 申請金額	152,000		
		② 減額の合計金額	0

4. 交付金(①-②)

交付決定額

152,000

(第3回総会参考資料)

各部会の経過報告と次年度活動方針(案)について

鹿嶋保存会「平成24年度下期事業部会まとめ等」

平成25年7月25日

事業部会長

小島 初男

活動報告：

第6回事業部会議開催(議事録参照)	平成25年	3月25日・参加者7名
第7回事業部会議開催(議事録参照)	平成25年	5月13日・参加者8名
第8回事業部会議開催(議事録参照)	平成25年	7月16日・参加者6名

総括：

平成25年の鹿嶋祭への「統一や採用実施」に向けて突っ込んだ議論を展開したが第8回の議事録に記したように事業部会としては課題が明確になった。各部で話し合われた事柄等の把握と摺り合わせ等全体協議会等の場作りに進め無かった。

各部会で話し合われた内容の集約を総会以外の全町内全体討論会等で意見交換等を重ね、地道に保存会の立ち位置を認識して戴く対策等が少々足り無かった。

25年度上期以降の活動計画(案)

1. 写真展開催について
2. 座談会の開催について
3. 他部会との合同会議等について
4. 他部会との情報共有の仕組み等について
5. 全町内全体討論会等について
6. 鹿嶋祭保存会の今後のPRと入会者勧誘について
7. 全国各地に於ける鹿嶋祭の資料収集について
8. 全国各地に於ける鹿嶋祭の見学会について
9. 全町の統一可能なモノと内容について
10. 上記の実行に至る手順について

以上

## 鹿嶋祭保存会 調査研究部会活動報告

### 1. 平成 24 年度活動状況

- 1) 新屋に伝わる「鹿嶋祭り」の歴史背景についての調査開始、各種資料（文献・データ）の収集と分析に基づき、「新屋の鹿嶋まつり」副題（かしまさんのルーツを探る）と題したパワーポイントによるスライドを作成。
- 2) H25 年 3 月 31 日 各専門部合同会議にて調査研究部の H24 年度活動総括として「新屋の鹿嶋まつり」をスライドショーにて発表。

### 2. 平成 25 年度の活動目標と活動状況

- 1) 引き続き「新屋の鹿嶋祭まつり」を精査するために、市内にある鹿島神社（3 社）を訪ねるなどして歴史背景を調査中。
- 2) 7 月 21 日（日）勝平寺に於いて「せせらぎ地域発表会」開催にあたり、鹿嶋祭保存会として「鹿嶋まつりの今昔」と題したスライドショーを実施。
- 3) H25 年度 鹿嶋祭アンケートの集約分析結果に基づき、保存会として今後の活動の在り方を調査研究し、模索していく。

以上

## 新屋鹿嶋祭保存会・製作部会平成25年活動方針(案)

平成25年5月9日(木) 18:00から西部サービスセンター3階洋室4において部会員14名中10名と保存会伊藤会長、藤枝事務局長、高橋広報部長の合計13名が出席し平成24年度の経過報告を行った後、提題について協議した。

### 1・協議議題

#### (1) 25年度の活動目標の確認について

鹿嶋船を実際に製作することを目的に、その参考とする様々な資料を収集するため次のとおりとした。

- ① 25年度鹿嶋祭り「鹿嶋船写真」を各町内に撮影(前後左右)、提供をお願いし収集する。
- ② 各町内や個人で所有する「鹿嶋船、度鹿嶋祭り」に関係した古い写真の提供をお願いし収集する。
- ③ 鹿嶋船の製作にあたっては、出来るだけ伝統的な型とする。

#### (2) 鹿嶋船製作の具体的方法について

### 協議録

#### (1) 25年度の活動目標の確認について

1. 25年1月の第1回の会議の結果について概ね①②③の結論となったことについて確認した。

#### (2) ①②の鹿嶋船写真収集の具体的方法について

1. 平成25年度の祭り写真と、古い写真について、収集依頼については、5月19日開催する鹿嶋祭打合せ会開催の際、各町内に対して藤枝事務局長から依頼文書等によりお願いすることとする。写真のサイズは2L版とする。

ただ、古い写真の提供については昨年の例からして収集状況は芳しくなかった。

なお、本年、提供される写真が有った場合、個人にとって記念すべき貴重な写真のはずなので、提供しつばなしを懸念するむきもあると思うので、コピー後に必ず返却することを約束、伝えること。

2. 各町内から提供、収集した写真については、今年もウエスター祭り等で展示公開することになるので、興味を持ってもらう意味からも、子供達の集合写真も加えることにしたらどうかとなった。
3. 鹿嶋祭り当日の写真収集については25年度で終了することとする。

#### ③ 鹿嶋船製作あたってその型について

ア・鹿嶋船「型」とその確定の用途について (資料 No.1・川口弥之助著書抜粋)

(同 No.2・船の軸先、艦写真)

1. 鹿嶋船の「型」を確定すべく、川口弥之助さんの著書「新屋の語り草」中の“鹿嶋さん”から関連部分を抜粋した内容(資料 No.1)と、24年度の各町内から提供、収集した写真(資料 No.2)を参考に議論を重ねたが、触先については諸説ふんぶんの議論となり確定することが出来なかった。また、鱧について「舵」は、各町内からの写真によれば、装着が有る船、無い船があるが、当然取付けられた船とすべきであるとの意見が大勢だった。また、太鼓の取り付けについては、数に多少の差はあるものの概ね統一されており異論はなかった。また、船体甲板上的お堂、帆(柱)、鹿嶋人形(武者人形)、搭載人形、吹流旗、風船等については特に議論はされなかった。
2. どのような船とすべきかの全体の型についても協議を重ねたが、提供された写真だけではイメージするのは難しいとなり、結論を得ることができなかった。  
その中で、例えば、イラストや絵によって船の全体像をあらわし、それをたたき台に議論し模索してみるのも一つの方法なのではとの意見が出されたことから、鹿嶋祭りに造詣が深く、且つイラスト作成や絵が得意とする適当な方に、主旨を説明し作成をお願いしてはどうかとなった。
3. 席上、田尻沢町の「舩谷さん」(保存会会員)が適当ではなくなったので、後日、お願いすることとした。(5月中旬依頼をした)
4. 従って、鹿嶋船「型」の確定は暗中模索の段階であるものの、早期に確定し製作に着手すべきなのは、

イ・製作費見積もり等について

1. 現段階では、展示できる場所によって船の大きさも左右され、場所が決まらない中での見積もりは難しい(出来ない)のではなかった。
2. 展示をイメージしたときに、日吉神社か西部サービスセンターが相応しいだろうし、その二か所以外に無いように考える。機会を見て、関係者に打診してみてもどうかとなった。  
後日、製作部会柴田副部長が西部サービスセンターへの展示について関係者に打診の結果、大いに期待のもてる状況となっている。  
なお、同氏からは、西部サービスセンターの展示を想定した場合の、船の大きさ等の構想(図面)も提出されている。なお、このことについては、今後、製作部会で協議する予定としている。

### (3) その他

1. 保存会広報部高橋伸部会長から「地域づくり交付金」申請に関する説明と、「新屋鹿嶋祭保存会」のインターネットホームページを立ち上げたと紹介が有った。

会議終了時刻 19時30分

## 1・鹿嶋船について(川口弥之助著・・・鹿嶋さんから)

鹿嶋船は町内毎に一艘が出される。簀船である。細いたる木で舟型をつくり、周囲を竇で囲う。舟ベリにはがづぎを束にしてつけ、5色の紙を細長く継ぎ合わせた「鹿嶋大明神」「町内安全」の吹流旗を数多くさし込む。簀船の中央に御堂を乗せ帆を立てる。帆には鹿島丸とか町内名が示されている。船の舳先には黒いもくが垂れ下がり、後方には飾り人形が上がる。この飾り物が鹿嶋船の見せどころで、各町内ともいろいろ工夫をこらし、時代の風刺や時の流行など、智慧をしばっての出し物なので、見物人の興味を大いにそゝる。勿論簀船の中は、子供達が持ち寄った鹿島人形で一杯となり、見事なものである。

この船を荷馬車に乗せ、後に太鼓を4、5個横並びに結びつける。この太鼓を若者が景気よくうち鳴らすのである。荷馬車の前方に綱を結び、参加した子供達全員で引張りながら町内を廻ることになる。

- ・<sup>すゐね</sup>簀船・・・細いたる木で舟型をつくり、周囲を竇で囲う。
- ・舟ベリ・・・がづぎを束にしてつけ5色の紙を細長く継ぎ合わせた「鹿嶋大明神」「町内安全」の吹流旗を数多くさし込む。
- ・簀船の中央・御堂を乗せ帆を立てる。帆には鹿島丸とか町内名が示されている。
- ・舟の舳先・黒いもくが垂れ下がり、後方には飾り人形が上がる。  
(後方には飾り人形が上がる。この飾り物が鹿嶋船の見せどころで、各町内ともいろいろ工夫をこらし、時代の風刺や時の流行など、智慧をしばっての出し物なので、見物人の興味を大いにそゝる。勿論簀船の中は、子供達が持ち寄った鹿島人形で一杯となり、見事なものである。)
- ・舟の後・・・太鼓を4、5個横並びに結びつける。

## 鹿嶋祭保存会実技部会第3回定期総会

### (1) 平成24年度 活動報告

1、総会及び各種会議、三役各部合同会議で実技部の立場から意見を述べ、その他活動に参加してきた。

#### 2、実技部会議の開催

- ・ 3月31日 第1回太鼓講習会に向けて
- ・ 鹿嶋祭唄と太鼓のCD版製作にむけて
- ・ 今後の実技部の取り組みについて

#### 第1回太鼓講習会の開催

平成25年3月31日 日新小学校

9町内参加し、子供会、保護者が参加して太鼓の打ち方を実技部員が指導した。

太鼓を収録して、CD録音をしたものを参加町内会、栗田養護学校に配布した。

概ね、好評を得ている。

### (2) 平成25年度 活動計画(案)

1. 部会内の役員（部長、副部長）の選出
2. 実技部の課題、テーマに沿った活動の展開
3. 実技部会議の開催と部員の親睦強化
4. 実技部内で「正統な唄と太鼓」の研究と普及活動
5. 「唄」「太鼓」のCD版の製作と配布
6. 第2回太鼓講習会の開催



## 鹿嶋祭保存会広報部会第3回定期総会

### (1) 平成24年度 活動報告

#### 1、「鹿嶋さんニュース」を発行

- ・第六号 : 平成24年9月15日 \*講演会と写真展を、回覧で告知

#### 2、2012/11/30(金) 広報部会 開催

- ・10/1に行われた『講演会』について
- ・10/12～14に行われた『写真展』について
- ・今後の広報部の取り組みについて

#### 3、2013/04/06(土) 広報部会 開催

- ・新屋鹿嶋祭保存会HP コメント/メッセージを検証 4/6より、正式運用
  - \*URL : <http://araya-kashima.main.jp>
  - \*サーバーは2年契約で、2015/04まで
  - \*HP作成は、殆どボランティアで
- ・「新屋鹿嶋祭」のポスターで、キャッチコピー他を検討

#### 4、「新屋鹿嶋祭」のポスターを掲示

- ・大きさ : A2
  - ・発注先 : 3社の競争入札=秋田中央印刷さんに発注
  - ・掲示期間 : 4月22日～6月9日(約50日間)
  - ・掲示枚数 : 各町内会 2枚=42枚
    - 町内集会所 38枚
    - 新屋以外 70枚
- 計=150枚

#### 5、平成25年度地域づくり交付金を申請

《事業の名称》 新屋地区の伝統行事を保存・伝承活動

《交付金の使用目的》 新屋鹿嶋祭のPRと保存顕彰並びに継承者の育成

《交付金申請額》 152,000円

《申請団体の概要》 文化財愛護精神に基づき、新屋の伝統行事である新屋鹿嶋祭の調査研究、保存顕彰並びに継承者の育成を目的とし、永く正しくこれを後世に伝承することを目的として、平成23年11月に本会は発足した。

《実施事業の概要》

1. 新屋鹿嶋祭に関するホームページの作成
2. PRポスター作成
3. 講演会、鹿嶋祭の歴史、写真の展示会
4. 正当な鹿嶋船や鹿嶋人形づくりの指導や唄、太鼓の囃しの伝承
5. 鹿嶋祭の統括責任者としてユニフォームを着用し、鹿嶋船を安全に運行させるための警備にあたるほか、展示会開催時や講演会出席時に着用しながらPR活動を行う。

#### 《実施事業のアピールポイント》

新屋鹿嶋祭は子供達の健やかな成長を願い毎年6月第2日曜日開催する伝統行事。新屋地区の文化的財産である行事を秋田市内外や全国に発信することで祭りを盛り上げていくとともに、正統な鹿嶋船や人形づくりの指導者を育てていながら、正しく後世に祭りを伝承させていく。

## (2) 平成25年度 活動計画(案)

1. 地域づくり交付金が全額交付決定
  - (ア) 幟旗を作成(4本)
  - (イ) 「新屋鹿嶋祭保存会」の名入りで、チョッキを作成(50枚)
2. ホームページの運用
  - (ア) 年度替わりにより、各部の画面を一新。
  - (イ) 古い写真を集めて、公開したい。
3. 「鹿嶋さんニュース」を発行
  - (ア) 今年も、必要に応じて全町内回覧をしたい。：予算化：1回、1万円程度
4. マスコミに売り込む
  - (ア) \*具体的なイベントが有るとき(歌と太鼓の練習会など)に、マスコミに来てもらう。
5. 平成26年「新屋鹿嶋祭」のポスターを作成
  - \* 美大の学生さんに製作してもらう。(キャッチフレーズ/ロゴ=募集)：予算化：150枚で3万円

# アワセこ出版員券

## 議題 6 役員を選出について

- 1、鹿嶋祭保存会の3年目を迎えるにあたり、現行体制を賢持して事業、運営を図ることを第1回理事会で確認しました。
- 2、町内会長の交代に伴い理事に変更が生じておりますので、当該の町内会から申請を受けて発表して総会のご承認をいただきます。
- 3、部会の役員体制については、各部で討議して、決定した内容を事務局に報告するものとする。

部会	役員名	職名
総務部	藤田大	部長
鹿嶋祭保存部	(代表) 藤田大	代表部長
	(副代表) 山田	副代表
	(書記) 山田	書記
少年部	山田	部長
青年部	山田	部長
婦人会	山田	部長
運動部	山田	部長
文化部	山田	部長
音楽部	山田	部長
演劇部	山田	部長
茶道部	山田	部長
書道部	山田	部長
花道部	山田	部長
剣道部	山田	部長
柔道部	山田	部長
空手道部	山田	部長
少林寺流	山田	部長
合気道	山田	部長
剣道部	山田	部長
柔道部	山田	部長
空手道部	山田	部長
少林寺流	山田	部長
合気道	山田	部長
剣道部	山田	部長
柔道部	山田	部長
空手道部	山田	部長
少林寺流	山田	部長
合気道	山田	部長

# 役員選出について

## 第1回総会選出役員

役職名	氏名	町内会
会長	伊藤富美雄	大川町
副会長	石澤千秋	日吉神社
副会長	富田 漣	十條団地
副会長	海風敏夫	下表町
総務(事務局)	藤枝隆博	大川町
総務(会計)	大塚正一	緑 町
理事	赤坂光一	日吉神社(責任役員)
理事	斎藤政雄	日吉神社(責任役員)
理事	鈴木恭治	日吉神社(責任役員)
理事	山本義臣	日吉神社(責任役員)
理事	小林敬一	栗田養護学校校長
理事	小島初男	緑 町
理事	川田直政	北新町
理事	南波郁夫	南新町
理事	高橋大和	関 町
理事	鈴木富夫	愛宕町
理事	阿部民樹	関町後
理事	安田 正	日の出町
理事	金澤國太郎	比内町
理事	岡田徳美	沖田町
理事	大倉孝作	南団地
理事	遠藤一紀	田尻沢町
理事	今野周次郎	高美町
理事	高橋昭一	駅前町
理事	高橋 伸	上表町
理事	小玉隆太郎	中表町
理事	高橋 勝	十條団地
理事	藤田友好	市営住宅
理事	大塚誠智	下表町
理事	狩野紀男	大川町
理事	佐々木宏治	笹 町
監事	渡辺憲一	笹 町
監事	小野良治	愛宕町

# 新屋鹿嶋祭保存会会則

(名称及び事務所)

第1条 本会は、「新屋鹿嶋祭保存会」と称し、事務所を秋田市新屋日吉神社社会館（秋田市新屋日吉町10-67）に置く。

(目的及び組織)

第2条 本会は、文化財愛護精神に基づき、新屋の伝統行事である「新屋鹿嶋祭」の調査研究、保存顕彰並びに継承者の育成を目的とし、永く正しくこれを後世に伝承することを目的とする。本会は、これに賛同するものをもって組織する。

(事業)

第3条 本会は、前項の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 「鹿嶋祭」の保存及び伝承、調査、研究に関すること。
- (2) その他必要な事業。

(構成)

第4条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 新屋地区町内会（以下「町内会」という）及び学校。
- (2) 本会の目的及び趣旨に賛同する団体及び個人。
- (3) その他、役員会又は総会で認められた者。

(役員)

第5条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 総務 2名（会計担当1名含む）
- (4) 理事 若干名
- (5) 監事 2名

(顧問)

第6条 保存会に顧問を置くことができる。

(役員等の任務)

第7条 役員等の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、保存会を代表し、会議を招集する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故等あるときはその職を代行する。
- (3) 総務は、事務、会計を担当する。
- (4) 理事は、保存会の運営を企画執行する。
- (5) 監事は、年に1回以上の会務及び会計の監査を行う。
- (6) 顧問は、会長の諮問に応じ、随時指導助言をする。

(役員等の選出)

第8条 役員は次により選出する。

- (1) 役員は、総会において選出する。
- (2) 顧問は、総会において選出し、会長が委嘱する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期を次のとおりとする。

- (1) 役員の任期を2年とし、再選を妨げない。
- (2) 役員の欠員が生じた場合は、補欠を選出することができる。その任期は、前任者の残任期間とする。

(会 議)

第10条 保存会の会議は次のとおりとし、会長が召集する。

- (1) 通常総会は、年に一回開催し、会務報告、事業計画、予算決算、会則等に関することを審議し、総会出席者の過半数の賛同を得て承認を得て決議する。
- (2) 必要に応じ臨時総会を開催することができる。
- (3) 役員会は、必要な都度開催し、総会に必要な資料調整及び保存会の運営、事業に関する事項を協議する。

(部 会)

第11条 保存会に次の部会を設ける。

- (1) 事業部
- (2) 広報部
- (3) 調査研究部
- (4) 実技部
- (5) 製作部

(会 費)

第12条 保存会の経費は、町内会及び学校からの負担金、会費、助成金、寄付金、その他をもって運営し、内容は次のとおりとする。

- (1) 負担金は、年間3,000円とする。
- (2) 会費は、団体及び個人から年間1口1,000円以上とする。

(会計年度)

第13条 会計年度を次のとおりとする。

- (1) 保存会の会計年度は、7月1日から翌年6月30日までとする。

(事 務 簿)

第14条 保存会に、次の帳簿等を備える。

- (1) 会則、会員名簿、役員名簿、会計簿、証拠票綴、議事録、備品台帳、諸文書綴
- (2) その他、保存会に関連する資料。

附 則 この会則は、平成23年11月20日より実施する。

## 新屋鹿嶋祭保存会入会のご案内

○「新屋の鹿嶋さん」は古くから近郷近在の大きな祭りとして親しまれてきました。新屋町の各町内では、子供たちのため町民が力を合わせ、何日もかけて鹿嶋船を作り、子供たちの健やかな成長と町民の息災安全を祈りながら、鹿嶋人形に子供らの「厄」を乗せて「鹿嶋流し」を行ってきました。

○初夏の風物詩として多くの人たちに親しまれてきた鹿嶋祭を誇りある伝統行事として後世に伝え、育んでいく核づくり、人づくりを目的に、平成23年11月20日、日吉神社会館において「新屋鹿嶋祭保存会」が結成されました。

○現在「保存会」には、20町内会、74名の多くの団体・個人会員が加入して活動しております。鹿嶋の歌やお囃子の練習、講習会などのほか、祭りに関する調査、研究、発表、展示など「部会」活動を展開していきます。（部会は、「事業部」「広報部」「調査研究部」「実技部」「製作部」の5部会です。）

○「新屋鹿嶋祭保存会」の事業活動を行っていくためには、多くの方々のご協力が必要となります。新屋の「心意気」を鹿嶋祭に託して、「新屋鹿嶋祭保存会」に奮ってご加入して下さいますようご案内申し上げます。

新屋鹿嶋祭保存会 会長 伊藤富美雄

年会費 1,000円（1口以上）

事務所 秋田市新屋日吉町10-67 日吉神社会館

TEL 018-828-3033

FAX 018-828-9057

メール・アドレス hiyoshi@cna.ne.jp

【入金方法】

1、現金支払い

2、振込み払い 868支店／普通預金

ゆうちょ銀行 「新屋鹿嶋祭保存会」

口座番号 0517927 アヲヤカシママツクホソノカイ

切り取り

加入申込書	
申込日	平成 年 月 日
フリガナ	
お名前	
ご住所	(〒 - )
年齢	歳 男性 女性 (町内会名)
電話	( ) 携帯電話 - -
FAX	( )
Mail: アドレス	携帯 PC
希望する「部会」を選んで下さい。	「事業部」「広報部」「調査研究部」「実技部」「製作部」
通信欄	

年会費（1口 1,000円）

口数	口	金額	円
----	---	----	---